

作成日 2018年 8月14日 (第1版)

改訂日 2022年8月31日 (第2版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 PAIgG
 構成試薬 : 「希釈用液」
 : 「血小板洗浄液A」
 : 「血小板洗浄液B」
 : 「停止液」
 製品コード 140352
 会社名 富士レビオ株式会社
 住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1
 担当部署 お客様コールセンター
 電話番号 0120-292-832
 FAX 番号 03-5781-3764
 緊急連絡電話番号 0120-292-832
 推奨用途と使用上の制限 研究用試薬

2. 危険有害性の要約

「停止液」

成分 (危険有害物質) : 硫酸 (9.8%)

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性 (吸入・ミスト)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 2 (呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 2 (呼吸器系)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ

注意書き : 【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱いで、皮膚を水（またはシャワー）で洗うこと。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、地方/国の規制に従って廃棄すること。

「希釈用液」、「血小板洗浄液A」、「血小板洗浄液B」

GHS分類

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル： なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： なし

通常の手扱いでは火災の危険性は極めて低い。

注意書き： 内容物および容器は適切な方法で処理すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 研究用試薬

成分及び含有量

「停止液」

成分（危険有害物質）： 硫酸 (Sulfuric acid)

化学特性（化学式等）： H_2SO_4

分子量： 98.1

CAS RN： 7664-93-9

濃度又は濃度範囲： 9.8%

官報公示整理番号（化審法）：(1) -430

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。呼吸器に関する症状が出た場合には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は

には洗濯すること。皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤： 周辺の条件に適した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時の特有危険有害性： 火災時に刺激性で毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項：
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：
適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。こぼした場所は、消石灰、ソーダ等で中和処理をした後、土砂、おがくず、ウェス等で拭き取って、適切な廃棄物処理容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。
停止液はアルカリ性物質との接触を避ける。

局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。

安全取扱い注意事項： 換気の良い場所で取扱うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。皮膚への接触、吸入又は飲み込んでではない。眼の中又は衣類に付けないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件： 室温

技術的対策： 特になし。

混触禁止物質： 停止液は酸性なので、アルカリ性の製品と同一場所に貯蔵しないこと。

安全な容器包装材料： 内容物が揮発しない容器を用いる。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに洗眼器と手洗い設備を設置する。

含有している成分（硫酸）で以下の情報が報告されている。

管理濃度：

硫酸 設定されていない。

許容濃度

硫酸

日本産業衛生学会（2005 年度版）： （最大値）1 mg/m³。

ACGIH（2005 年度版）： TLV-TWA 0.2 mg/m³

保護具

呼吸器の保護具： 防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具：適切な眼の保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具：適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

	希釈用液	血小板洗浄液 A
物理状態	液体	液体
色	無色透明	淡黄色透明
臭い	データなし	データなし
融点／凝固点	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び沸点範囲	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
pH	ほぼ中性	ほぼ中性
動粘性率	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし	データなし
相対ガス密度	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし

	血小板洗浄液 B	停止液
物理状態	液体	液体
色	淡黄色透明	無色透明
臭い	データなし	データなし
融点／凝固点	データなし	データなし
沸点又は、初留点及び沸点範囲	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし

爆発下限及び爆発上限界/ 可燃限界	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし
pH	ほぼ中性	酸性
動粘性率	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし
n-オクタノール／水分配係 数(log値)	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし	データなし
相対ガス密度	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

「停止液」

- 安定性： 各種の金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。
- 危険有害反応可能性： 情報なし
濃硫酸は強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と反応する。塩基と激しく反応し、ほとんどの普通金属に対して腐食性を示して引火性/爆発性気体（水素）を生成する。水、有機物と激しく反応して熱を放出する。
- 避けるべき条件： 加熱すると、刺激性又は有毒なヒュームやガス（イオウ酸化物）を生成する。
- 混触危険物質： 可燃性物質、還元性物質、強酸化剤、強塩基、混触危険物質などとの接触に注意する。
- 危険有害な分解生成物： 燃焼の際は、イオウ酸化物などが生成される。

11. 有害性情報

「停止液」

(成分（危険有害物質）：硫酸)

急性毒性：

経口： 9.8%含有のため区分に該当しない。

経皮： 情報がなく分類できない。

吸入（ミスト）： ラットLD₅₀値が347ppm (0.347 mg/L, 4h) (SIDS, 2001) で区分 2 である硫酸が9.8 % 含まれることから区分 4 に分類される。
吸入すると有害（区分 4）

皮膚腐食性/刺激性： 区分 1 である硫酸が9.8% (≧5%) 含まれることから区分 1 に分類される。

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（区分 1）

眼に対する重篤な損傷/刺激性：

区分 1 である硫酸が 9.8% (≧3%) 含まれることから区分 1 に分類される。

重篤な眼の損傷（区分 1）

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。

発がん性： 情報がなく分類できない。

生殖毒性： 情報がなく分類できない。

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：

区分 1 である硫酸が 9.8%（1.0%≦，＜10%）含まれることから区分 2 に分類される。

臓器（呼吸器）の障害のおそれ（区分 2）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：

区分 1 である硫酸が 9.8%（1.0%≦，＜10%）含まれることから区分 2 に分類される。

長期にわたる、または、反復ばく露により臓器（呼吸器系）の障害のおそれ（区分 2）

「希釈用液」、「血小板洗浄液A」、「血小板洗浄液B」

急性毒性： 情報がなく分類できない。

皮膚腐食性/刺激性： 情報がなく分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 情報がなく分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性： 情報がなく分類できない。

生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。

発がん性： 情報がなく分類できない。

生殖毒性： 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 情報がなく分類できない。

誤えん有害性： 情報がなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

「停止液」

（成分（危険有害物質）：硫酸）

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）：9.8%含有のため区分に該当しない

水生環境有害性、長期（慢性）：9.8%含有のため区分に該当しない

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壤中への移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない

「希釈用液」、「血小板洗浄液A」、「血小板洗浄液B」

生態毒性

水生環境有害性、短期（急性）：情報がなく分類できない。

水生環境有害性、長期（慢性）：情報がなく分類できない。

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 停止液の残余廃棄物はアルカリで中和して多量の水で希釈して処理する。
廃棄については、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装 : 容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条・第 57 条の 2、施行令第 18 条・第 18 条の 2) 政令番号別表第 9 の 613 号(硫酸)本製品は労働安全衛生法表示・通知対象物質である。
毒物及び劇物取締法 : 劇物 指定令第 2 条第 104 号(硫酸)本製品での含有率は 10%以下のため該当しない。
化学物質排出把握管理促進法 : 該当なし

1 6. その他の情報

主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>
NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIIP)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。